



そろそろ

大好評のイベントが今年も開催予定です！

二宮団地とは……

神奈川県西部にある二宮団地は、昭和40年頃に開発した住宅団地です。築後50年以上が経過し、住宅の老朽化に加え、人口減少と少子高齢化が進行する中、二宮町ならではの自然豊かな里山の風景を残しながら、地産地消による地域・団地の魅力づくりを行うプロジェクトに取り組んでいます。

二宮町のひと・自然とふれあう時間

取組みのひとつとして、団地からほど近い場所にある水田で毎年5月頃に田植え体験イベントを開催しています。二宮町の豊かな自然のなかで、なかなか体験する機会のない農作業を体験できるため、親子連れの方を中心に多くの方がご参加くださっている人気のイベントです。昨年は、2020年に神奈川県奨励品種として選定された「てんこもり」を植え付け。強い日差しの中、泥だらけになりなが

ら楽しそうにはしゃぐ子どもたちが印象的でした。植えた稲は収穫後、参加者の皆様へお送りしました。

今年も開催に向けて企画中！

田植え体験は今年も開催予定です。日程や応募方法などの詳細は、今後二宮団地公式ホームページ、各種SNSにて配信予定です。ご家族やご友人と一緒に、ぜひ参加をご検討ください。



ACCESS

JR東海道線 二宮駅からバス約9分+徒歩



HOMEPAGE

<https://www.nino-satoyama.com/>



TEL

0463-80-9800 (平日9:00-16:00)



予告 横浜に新築3物件が誕生します！

フール横浜三ツ沢 (表紙上)

昭和29年に管理を開始した旧栗田谷共同住宅（横浜市神奈川区）の建替事業。東急東横線をはじめ、複数路線による好アクセスが魅力的な物件。令和5年11月から入居開始予定です。

フール横浜井土ヶ谷 (表紙中)

昭和46年に管理を開始した旧横浜井土ヶ谷共同ビル（横浜市南区）の建替事業。2路線が通る好立地ながら、目の前を大岡川が流れ、春に

は見事な桜並木も。暮らしの中に自然を感じる物件です。令和6年3月から入居開始予定です。

(仮称)弁天通3丁目計画 (表紙下)

昭和33年、戦災後の復興の中で防火帯建築として竣工した旧弁天通3丁目第2共同ビル（横浜市中区）の建替事業。横浜の中心地に位置し、3路線が徒歩5分圏内に集まる好立地。賃貸店舗と賃貸住宅の複合ビルとして、令和6年4月から入居開始予定です。

※掲載の外観完成予想CGは設計図を基に作成したもので、形状・色等は実際とは異なります。なお、外観形状の細部、設備機器、敷地周辺の建築物、電柱、ガードレール、植栽等は再現していません。
※令和5年4月現在、当該3物件の入居募集はしていません。募集情報については今後公開予定です。



県公社のたより

発行 神奈川県住宅供給公社
<https://www.kanagawa-jk.or.jp/>



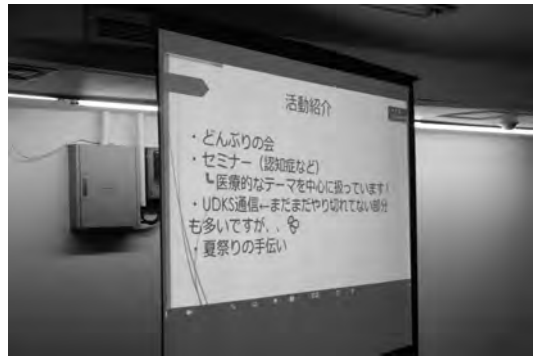
「公社の賃貸」横浜に新築3物件が誕生予定。



©ゼンリン



第1回 団地活性サポーター ミーティング in 横浜



令和5年3月5日(日)、各地の団地活性サポーターが一堂に会した交流会が開催されました。

団地活性サポーターとは?

団地やその周辺地域の活性化を目的に、団地の近隣大学に通う学生が団地の高層階に住まいながら、自治会活動への参加や学生自らがご入居者向けイベントの企画・運営を行う制度です。その始まりは2016年、神奈川県立保健福祉大学と「食」を通じた健康寿命の延伸に向け、連携協定を締結したことがきっかけでした。「公社の賃貸」の多くは高齢化率の上昇や高層階の空室の増加、地域コミュニティの希薄化が課題となりつつあります。それらを解決することを目的として浦賀団地(横須賀市)で開始したこの取組は、他の大学・団地にも広がり、現在では緑ヶ丘団地(厚木市)、相武台団地(相模原市)において導入しています。

お互いの活動を知るきっかけに

各地での活動を開始して数年、団地活性サポーターの活動も多岐にわたるようになりました。これまでの活動で感じた課題や新しい企画のヒントを得るため、交流会を行うことになりました。

当日は現地会場での参加のほか、オンラインに

より総勢16名の学生が集合。交流会を通じて、「団地の特徴と、大学や学科ごとの専門的な特性が活かされていて、活動内容がそれぞれ違うので参考になった。」「他の団地の活動と、自分たちの活動を組み合わせるともっと良い活動ができるのではと感じた。」と前向きな声があがりました。

サポーター活動について学生からは……

住んでいる団地はどんなところ?
「いってらっしゃい」と声をかけてくれる優しい人たちが多くいるところですよ!

これまでの活動で感じた課題は?

サポーターの認知度が低いこと。多世代に知ってもらえる方法を考えたい。

これからどんなことをやってみたい?
それぞれの得意分野を活かして学生自身が企画するイベントをやりたい。

i 自治会への加入をお願いします

「公社の賃貸」には、住環境をよりよくしたいとの思いから、ほとんどの物件ではご入居者による自治会が組成されており、美化活動やにぎわいづくりなど幅広い活動を担っています。しかし、全国的に進行する少子高齢化の影響は自治会活動にも影響を及ぼしており、役員の担い手や加入率の減少などの課題に直面しています。

「自治会があるのは知っているけど、何をしているのかわからない」という方へ、自治会が担っている代表的な活動の一部をご紹介します。平時はもちろん、有事の際に大きな役割を果たす自治会。加入をご希望の際はお住まいの物件の自治会役員まで、ご不明の場合は公社 運営管理課(☎045-651-1864)までご相談ください。



防災活動

災害に備えた防災訓練の実施、防災用品の備蓄・管理



美化活動

地域の清掃やごみ捨て場の管理



防犯パトロール

子どもや高齢者の見守り、戸締まり・火の元の注意の呼びかけ



広報活動

回覧板や掲示板での行政・地域のお知らせの情報提供

i 公社からのお知らせ

ベランダからの転落事故に注意!

近年、ベランダや窓際に置かれたプランターや椅子、エアコンの室外機などを踏み台に、子どもが転落する事故が増加しています。重大な事故につながる前に、ご自宅にあてはまる場所がないか改めて確認し、補助錠を設置する等の対策を検討しましょう。

「公社の賃貸」入居資格を改定しました

令和5年4月1日より、物件所在地の自治体が発行するパートナーシップ宣誓書受領書等の交付を受けている方の入居申込・同居が可能となりました。詳細については、以下にお問合せください。

■ 新規申込をご検討の方

公社の賃貸募集窓口 ☎ 0120-100-107
9:00-17:15/定休日なし(夏季・年末年始除く)

■ ご入居中で、同居をご希望の方

賃貸事業部 運営管理課 ☎ 045-651-1864
平日8:30-17:15

公社への届け出はお済みですか?

過去2年間で発生した安否確認においては、高齢者のみならず、30~50代の働き世代の方を対象とする件数が増加傾向にあります。届け出内容をもとに、必要に応じて連帯保証人や緊急連絡先、勤務先等に連絡しておりますが、それらの変更を届け出ていない場合、一次対応の遅れにつながりかねません。

結婚や出産により同居のご家族が増えたり、ご家族の死亡や子どもの独り立ちによる転出、転職・退職による勤務先の変更など、届け出内容に変更があった場合は、公社へお知らせください。

■ 申請書は公社HPからダウンロードが可能です

公社HP ▶ お住まいの方へ ▶ 一般賃貸住宅用申請書
https://www.kanagawa-jk.or.jp/residents/download_c.html



■ ご契約情報の照会・変更のお問合せ

賃貸事業部 運営管理課 ☎ 045-651-1864
平日8:30-17:15

横浜若葉台にお住まいの方

一般財団法人 若葉台まちづくりセンター
☎ 045-921-3361 FAX 045-921-3365
水曜・祝日を除く8:30~17:30
上記時間外は若葉台警報監視センターにつながります。

横浜若葉台以外にお住まいの方

一般社団法人 かながわ土地建物保全協会 各サービスセンター (平日8:30-17:30)

・横浜北 ☎ 045-933-0593 FAX 045-932-4865
・横浜南 ☎ 045-778-4425 FAX 045-778-4428
・湘南 ☎ 0466-43-7731 FAX 0466-43-7734
・県央 ☎ 046-251-2901 FAX 046-255-6819
・西湘 ☎ 0463-71-1839 FAX 0463-73-0428
※川崎サービスセンターは昨年4月より廃止となりました

夜間、土・日曜、祝日は
緊急連絡センターへ
☎ 045-212-1889

お住まいに関してのご相談、お問い合わせおよび退去手続きは管理会社へ